

自己否定が成功への近道 岡田康博

時代とともに、社会の常識や「正しさ」は変化していきます。

かつては「天動説」が当たり前とされていた時代がありましたが、やがて「地動説」が受け入れられるようになりました。また、CO₂は無害だと考えられていた時代から、今では温暖化ガスとして世界がその排出削減に取り組むようになっています。

さらに、「経済成長こそが人々を幸せにする」と信じられていた時代から、「その成長が気候変動を招き、逆に社会や経済を破壊しかねない」と認識される時代へと変化しています。

こうした歴史の中で重要なのは、「私たちは間違っていた」と素直に認める力、すなわち自己否定の姿勢です。

過去の考えや行動を正当化し続けることは、一時的には自尊心を守るかもしれませんが、変化への対応を遅らせ、事態をさらに悪化させる恐れがあります。反対に、自らの誤りを認め、学び直し、方向転換することができれば、修復や成長のスピードは格段に上がります。

「失敗は成功のもと」ということわざは、言い換えれば「自己否定が成功のもと」とも言えるのではないのでしょうか。